

第 170 号 発行日 平成 23 年 2 月 7 日

# 合格通信

今  
月  
の  
名  
言

尊敬すべき幸福な人は、逆境にいても、つまらぬことはよくよせず、心配しても始まらないことは心配せず、自分の力のないことは天に任せて、自分の心がけをよくし、根本から再生の努力をする人である。

武者小路 実篤  
(「幸福について」)

これは、塾生のみなさんと、特進スクールを訪れてくれた、小中高校生の皆さんとお問い合わせいただいたお父さん、お母さんに向けて、勉強法や受験に役立つ話題をお届けする情報誌です。

## 名曲喫茶 国立篇

中央線の国立には「ジュピター」という名曲喫茶がありました。国立駅南口を出てすぐ右側に折れ5,6分歩いた一橋大学の近くにありました。あるとき昼ぐらいいに行ってみると閉まっていた、営業時間を見るとなんと「営業午後2時～夜10時」とありました。1階と2階があり、2階のほうが客席が多く窓際はなかなか落ち着けて、気に入っておりました。このママさんは当時40代半ばの長身でめがねをかけていましたが、たまに帰り際に話しかけてくれました。「この喫茶店を開店する際に壁塗りのような内装はすべて自分たちでやった」と店の沿革の話や、「最近気に入っているピアニストは、ヨウラ・ギョウラ」とかいろいろ話してくれました。



あるとき、ここでエルガーのチェロ協奏曲をリクエストすると「次におかけする曲はカザルスのチェロ、セル指揮チェコ・フィルハーモニーの演奏による、エルガーのチェロ協奏曲です」というママさんのアナウンスのあと、店にいた客全員がぞろぞろと帰っていきました。・・・「チミたちはこの名曲を知らんのか」と思いましたが、別にアルバン・ベルクやウェーベルンの現代音楽をリクエストしたわけではなし、「まあ、これだからシロートはこまるわ」と店内にひとり曲が終わるのをまっていた。

この喫茶店も主人が先に亡くなり、その後ママさんも亡くなり後継者もなく、2005年に閉店したそうです。

